

# 第2回 日本料理食卓作法講師育成セミナー開催報告 ～現状点検でワンランク上の講師を目指す～



**テーブルマナー委員会**  
**藤原 まな美** (ふじわら まなみ)  
 ◇人材開発 代表 ◇人材育成コンサルタント  
 ◇社員教育研修講師 ◇接遇訓練インストラクター  
 ◇秘書サービス接遇教育学会 正会員  
 ◇HRS テーブルマナー認定講師(西・日・中・マスター)  
 ◇HRS 日本料理テーブルマナー委員会 委員  
 ◇嘉祥流 観相学導師(玉千)  
 ◇高野山真言宗 得渡 尼僧(真苑)



第1部 三谷講師



去る9月20日(木)ホテルメルパルク東京にて「第2回日本料理食卓作法講師育成セミナー」が開催されました。台風まっただ中にも関わらず、全国から14名の方がご受講くださいました。

定刻12時00分、テーブルマナー委員会宮澤副委員長の司会で開講。森本会長の開講挨拶に始まり、第1部は三谷講師が担当し「日本料理食卓作法 実演講座」を、第2部はグループ制にし「受講者によるロールプレイング」が実施されました。

概要について述べますと、第1部の前半では、三谷講師より、講師として登壇した際に伝えておきたい項目とそのポイントについてレクチャーがあり、後半には食事のいただき方についての説明がありました。受講メンバーの皆さんは、熱心にメモを取られていました。頷いたり、質問があったりと積極的な姿勢で意識の高さを感じました。

第2部は、Aグループ5名(野口講師担当)、Bグループ5名(鈴善講師担当)、Cグループ4名(伊藤講師担当)と3卓に分かれて「受講者によるロールプレイング」を実施。これは一人につき

15分時間を取りました。流れですが、実際に用意された料理を使い一人3分で実演をする。→ 終わったら本人を含めメンバー全員がそれぞれに感じた良い点・改善点を、事前に配布された用紙に記載する。→ 記載が終わったら、まず実演者が自分を振り返りセルフコメントを発表。→ その後メンバー全員から客観的なアドバイスをいただき、→ 最後に担当講師からアドバイスとコメントをもらう。→ そしてそれを基に再演する。というストーリー性のあるとても細やかで丁寧な展開でした。実演するだけではなく、書いたり、話したり、聞いたりすることで、最初は緊張した面持ちの皆さんでしたが、終わるころには笑顔が増え、自信のある表情になっていくのが印象的でした。

受講者によるロールプレイングの終了後、総括として各担当講師から感想も含め振り返りの発表があり、前田専務理事の閉会の辞で無事セミナーは閉講しました。

ご受講下さった方は、これから登壇予定のある方だけではなく、何度か経験されている方もいました。また自分がやっている内容が合っているのか確認をしたい、という方もいらっしゃいましたし、昨年に引き続きご参加下さった方など様々でした。

客観的に良いところ悪いところが見え、周りの感想や意見をたくさん聞くことができて大変参考になった。(複数回答)

ロールプレイングの、実演→フィードバックという流れは、大変貴重な時間だった。(複数回答)

試験やセミナーを受けてから時間が経ち、理解が薄れていることや、言い回し等、リマインドすることができ、今後の課題が明確になった。定期的に参加したい。

実際に人前で話すことで、考えていたよりも言葉が出ず、焦ってしまうことにも気付くことができ、継続した学習が必要だと実感した。

新しい講習会の形、参加して良かった。

※セミナー参加者アンケートより

このセミナーは、セルフコメントをすることで自分を客観視することが出来るようになり、またメンバーからのアドバイスやコメントがあることで、独りよがりになっていないか、癖はついていないかなど現状を確認することが出来るものです。来年も開催される予定です。ワンランク上の講師を目指して、年に1回の人間ドックのように現状の点検の場としてご活用されてはいかがでしょうか。



Bグループ



Aグループ



Cグループ